

総合戦略における 数値目標・重要業績評価指標の現状値

松戸市総合戦略では、4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに「数値目標」を掲げ、計16項目の「数値目標」を掲げています。目標年次は主に平成31年（令和元年）となっていますが、最新の現状値を把握し、目標値に近づいているのか、そうでないのかを見ていきます。

あわせて、具体的な施策ごとに設定している「重要業績評価指標（KPI）」（約70項目）についても同様の方法で現状値を見ていくことで、施策の進捗状況の検証につなげていきます。

（総合戦略P74）

基本目標Ⅰ 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

- ①婚姻率：5.5‰（平成25年）→5.9‰（平成31年）
- ②出生数：3,823人（平成26年）→4,107人（平成31年）
- ③合計特殊出生率：1.36（平成25年）→1.55（平成31年）
- ④0～14歳及び25歳～44歳の「転入者数－転出者数」：
△1,577人（平成25年）→0人（平成31年）
- ⑤主要観光スポットの観光客数：2,584千人（平成25年）→2,750千人（平成31年）
- ⑥松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合：
15.8%（平成25年度）→28.0%（平成31年度）

（注）表中の数値右側に表示した矢印は、それぞれ当該数値欄の左欄の数値と比べた、数値の上下の動きを表しています。

数値目標① 婚姻率

平成25年(基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年(現状値)	平成31年(目標値)
5.5‰	5.4‰ ↓	5.0‰ ↓	5.1‰ ↑	4.9‰ ↓	5.9‰

参考) 婚姻率＝婚姻件数/人口（千人） H26年5.3%

数値目標② 出生数

平成26年(基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年(現状値)	平成31年(目標値)
3,823人	3,975人 ↑	3,782人 ↓	3,679人 ↓	3,609人 ↓	4,107人

参考) 平成25年 4,016人

数値目標③ 合計特殊出生率

平成25年(基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年(現状値)	平成31年(目標値)
1.36	1.38 ↑	1.31 ↓	1.30 ↓	1.28 ↓	1.55

参考) H26年1.30

数値目標④ 0～14歳及び25歳～44歳の「転入者数－転出者数」

平成25年(基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年(現状値)	平成31年(目標値)
△1,577人	△56人↑	140人↑	300人↑	961人↑	522人↓	0人

参考) ・H31年 522人 = 101人(0～14歳) + 421人(25～44歳)

〔101人(0～14歳)=31人(0～4歳)+62人(5～9歳)+8人(10～14歳)〕

〔421人(25～44歳)=174人(25～29歳)+97人(30～34歳)+107人(35～39歳)+43人(40～44歳)〕

参考) ・H30年 961人 = 142人(0～14歳) + 819人(25～44歳)

〔142人(0～14歳)=65人(0～4歳)+17人(5～9歳)+60人(10～14歳)〕

〔819人(25～44歳)=276人(25～29歳)+310人(30～34歳)+152人(35～39歳)+81人(40～44歳)〕

参考) ・H29年 300人 = 31人(0～14歳) + 269人(25～44歳)

〔31人(0～14歳)=12人(0～4歳)+41人(5～9歳)+△22人(10～14歳)〕

〔269人(25～44歳)=121人(25～29歳)+129人(30～34歳)+△19人(35～39歳)+38人(40～44歳)〕

参考) ・H28年 140人 = 22人(0～14歳) + 118人(25～44歳)

〔22人(0～14歳)=△72人(0～4歳)+24人(5～9歳)+70人(10～14歳)〕

〔118人(25～44歳)=342人(25～29歳)+10人(30～34歳)+△146人(35～39歳)+△88人(40～44歳)〕

参考) ・H27年 △56人 = △73人(0～14歳) + 17人(25～44歳)

〔△73人(0～14歳)=△91人(0～4歳)+△5人(5～9歳)+23人(10～14歳)〕

〔17人(25～44歳)=294人(25～29歳)+△202人(30～34歳)+△60人(35～39歳)+△15人(40～44歳)〕

参考) ・H26年 △454人

数値目標⑤ 主要観光スポットの観光客数

平成25年(基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年(現状値)	平成31年(目標値)
2,584千人	2,781千人↑	2,754千人↓	2,621千人↓	2,599千人↓	2,750千人

数値目標⑥ 松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合

平成25年度(基準値)	平成27年度	平成28年度(現状値)	平成31年度(目標値)
15.8%	17.1%↑	17.2%↑	28.0%

(総合戦略P74)

基本目標 I -1-(1) 出会いの機会があり、結婚に夢を持てる(結婚を希望する若者への支援)

重要業績評価指標(KPI): 結婚活動の支援等に係る講座等の参加者数

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
204人	248人↑	274人↑	(291→)271人↓	245人↓	300人

基本目標 I -1-(2)若者や女性が活躍できる（若者や女性の社会進出への支援）

重要業績評価指標（KPI）：女性の悩みや問題に係る講座等の参加者数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
476 人	624 人 ↑	461 人 ↓	(396→)436 人 ↓	537 人 ↑	600 人

（総合戦略 P 75）

基本目標 I -1-(3)子育てに夢を持ち、出産に必要な相談や医療機関が整っている（出産を希望する若者への支援）

重要業績評価指標（KPI）：地域周産期母子医療センターの数

平成 26 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0 か所	1 か所 ↑	1 か所 →	1 か所 →	1 か所 →	1 か所

重要業績評価指標（KPI）：中高生と赤ちゃんのふれあい体験を実施している学校数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
4 校	6 校 ↑	6 校 →	7 校 ↑	10 校 ↑	9 校

基本目標 I -1-(4)乳幼児に必要な医療環境や予防環境が整っている（乳幼児への医療や予防環境の充実）

重要業績評価指標（KPI）：夜間小児急病センターの数（維持）

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
1 か所	1 か所 →	1 か所 →	1 か所 →	1 か所 →	1 か所

重要業績評価指標（KPI）：産後の支援

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
(150→)84 人	109 人 ↑	93 人 ↓	78 人 ↓	98 人 ↑	300 人

重要業績評価指標（KPI）：B 型肝炎及びおたふくかぜの予防接種数（補助したもの）

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	11,712 人 ↑	9,627 人 ↓	5,612 人 ↓	5,861 人 ↑	23,827 人

参考）法改正により H28.10.1～ B 型肝炎ワクチン 定期予防接種へ → 市単独補助不要に

重要業績評価指標（KPI）：生後 4 ヶ月までの乳児のいる家庭への訪問率（日本人のみ）

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
98.2%	100% ↑	100% →	100% →	100% →	100%

参考値）次の数値は、上記指標「生後 4 ヶ月までの乳児のいる家庭への訪問率」について、事業担当課にて平成 29 年度から当該数値の対象に外国人の家庭も含んで取扱うこととなったため、参考として遡算出したもの。

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)
97.5%	98.8% ↑	100% ↑	100% →	100% →

(総合戦略 P 76)

基本目標 I -1-(5)多世代がゆとりある住環境で子育てができる (子育て世代向けの住宅環境の充実)

重要業績評価指標 (K P I) : 居住支援制度の導入

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0	0 →	0 →	0 →	0 →	1(導入)

参考) H28 年度～ 松戸市子育て世帯親元近居・同居住宅取得補助金制度を開始

基本目標 I -1-(6)子育てや教育に必要なコストを低減する (子育てや教育に必要な経済的負担の軽減)

重要業績評価指標 (K P I) : 第 3 子以降の保育料無償化制度の拡大

平成 26 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
1	1(拡大) ↑	1(拡大) →	1(拡大) →	1(拡大)

参考) H28 年 4 月～ 第 3 子無償化の範囲を拡大

※就学前→小学 3 年生までに適用範囲引き上げ (市独自減免)

基本目標 I -1-(7)子育てについていつでも相談できる場がある (子育てに対する相談体制の充実)

重要業績評価指標 (K P I) : 子育て世代包括支援センターの数

平成 26 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0 か所	3 か所 ↑	3 か所 →	3 か所 →	3 か所

参考) H28 年 6 月 市内 3 保健福祉センター内に「親子すこやかセンター」開設

重要業績評価指標 (K P I) : 地域子育て支援拠点の数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
19 か所	19 か所 →	21 か所 ↑	23 か所 ↑	25 か所 ↑	23 か所

重要業績評価指標 (K P I) : 生活困窮世帯の中学生の学習支援

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
30 人	108 人 ↑	150 人 ↑	175 人 ↑	200 人 ↑	90 人

参考値) 上記指標「生活困窮世帯の中学生の学習支援」における学習支援の対象を、平成 28 年度から事業担当課にて小学 5・6 年生まで拡大し、さらに、平成 29 年度からは高校生まで拡大して実施している。次の数値は、平成 28 年度は、対象の小・中学生を合計した人数について、平成 29 年度は、小・中学生・高校生を合計した人数について、参考として算出したもの。

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)
(小+中)195 人 ↑	(小+中+高)264 人 ↑	(小+中+高)309 人 ↑

(総合戦略 P 77)

基本目標 I -1-(8)近所に子育てをサポートしてくれる人がある (子育てをサポートできる体制の充実)

重要業績評価指標 (K P I) : 三世帯住宅支援制度の利用件数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	未実施	102 件 ↑	251 件 ↑	478 件 ↑	50 件

参考) H28 年度～ 松戸市子育て世帯親元近居・同居住宅取得補助金制度を開始

重要業績評価指標 (K P I) : 養育支援訪問事業の対象となる家庭への訪問率

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
100%	100% →	100% →	100% →	100% →	100%

(総合戦略 P 78)

基本目標 I -1-(9)子育てと仕事を両立することができる (子育てと仕事の両立への支援)

重要業績評価指標 (K P I) : 入所保留児童を含めた待機児童数

平成 27 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
411 人	143 人 ↓	85 人 ↓	118 人 ↑	0 人

参考) H28 年 4 月、待機児童ゼロを達成 (国基準)

重要業績評価指標 (K P I) : 放課後子ども総合プランの一体型実施箇所数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	2 か所 ↑	8 か所 ↑	11 か所 ↑	15 か所 ↑	26 か所

基本目標 I -1-(10)子どもと (が) 安心して遊び過ごせる公園や屋内施設が整っている (子どもと安心して外出できる環境の整備)

重要業績評価指標 (K P I) : 21 世紀の森と広場の来園者数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
594 千人	599 千人 ↑	651 千人 ↑	614 千人 ↓	592 千人 ↓	832 千人

(総合戦略 P 79)

基本目標 I -2-(1)確かな学力を身に付けることができる (確かな学力と豊かな心を育む教育環境の整備)

重要業績評価指標 (K P I) : 言語活用科授業指導案の種類

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
小学校 20 種類	20 種類 →	28 種類 ↑	25 種類 ↓	25 種類 →	26 種類
中学校 51 種類	51 種類 →	58 種類 ↑	58 種類 →	58 種類 →	66 種類

重要業績評価指標（KPI）：小中学校の冷房化率

平成 26 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	100% ↑	100% →	100% →	100%

(総合戦略 P 80)

基本目標 I -2-(2)子どもの個性に応じて教育を受けることができる（個に応じた教育的支援の充実）

重要業績評価指標（KPI）：特別支援学級の設置率（小学校）

平成 27 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
61.4%	71.1% ↑	73.3% ↑	80.0% ↑	97.7% ↑	70.0%

重要業績評価指標（KPI）：特別支援学級の設置率（中学校）

平成 27 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
40.0%	45.0% ↑	50.0% ↑	60.0% ↑	87.7% ↑	50.0%

基本目標 I -2-(3)子どもが主体的に活動できる場所がある（子どもの自立を支援できる場の充実）

重要業績評価指標（KPI）：児童館機能を持った施設の数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
3 箇所	3 箇所 →	3 箇所 →	3 箇所 →	3 箇所 →	5 箇所

重要業績評価指標（KPI）：整備・拡充及び「冒険子どもの遊び場」等による子どもの遊び場の活用

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
2 箇所	2 箇所 →	2 箇所 →	1 箇所 ↓	1 箇所 →	5 箇所

(総合戦略 P 81)

基本目標 I -2-(4)市立高校ならではの教育を受けることができる（特色ある市立松戸高校の創造）

重要業績評価指標（KPI）：学校説明会 来場者数

27 年度(28 年度入学) (基準値)	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度(R2 年度入学) (現状値)	R1 年度(R2 年度入学) (目標値)
普通科 1,154 人	1,343 人 ↑	1,424 人 ↑	(1,009→) 1,792 人 ↑	1,807 人 ↑	1,300 人
国際人文科 183 人	200 人 ↑	261 人 ↑	(147→) 236 人 ↓	204 人 ↓	250 人

重要業績評価指標（KPI）：生徒・保護者の満足度

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
生徒 85%	86% ↑	88% ↑	82% ↓	78% ↓	90%
保護者 92%	91% ↓	95% ↑	91% ↓	89% ↓	90%

基本目標 I -2-(5)地域と協働する魅力的な大学がある（市内大学等の活性化に向けた支援・連携）

重要業績評価指標（KPI）：市と大学の連携事業数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
73 事業	80 事業 ↑	81 事業 ↑	120 事業 ↑	126 事業 ↑	95 事業

基本目標 I -2-(6)子どもたちがグローバルな視点をもつ機会がある（国際感覚をもった人材育成）

重要業績評価指標（KPI）：「夢の教室」の実施クラス数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	8 クラス ↑	47 クラス ↑	125 クラス ↑	125 クラス →	120 クラス

（総合戦略 P 82）

基本目標 I -3-(1)文化・芸術の活動をできる場や発表機会、鑑賞機会が多くある（文化、芸術活動を発表できる場や機会の充実）

重要業績評価指標（KPI）：文化・芸術に親しむ市民の割合

平成 25 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
43.7%	45.4% ↑	41.5% ↓	48.0%

（総合戦略 P 83）

基本目標 I -3-(2)松戸の歴史を感じられる場と学習機会がある（松戸の歴史や文化を感じる場や機会の充実）

重要業績評価指標（KPI）：戸定邸入館者数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
54 千人	62 千人 ↑	59 千人 ↓	51 千人 ↓	70 千人 ↑	60 千人

基本目標 I -3-(3) 国内・海外からも魅力ある文化・芸術活動がある（魅力ある観光拠点の整備）

重要業績評価指標（KPI）：滞在人口率

平成 26 年(基準値)	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年(現状値)	平成 31 年 (目標値)
(1.63 倍→)	(1.55 倍 →)	(公表待ち→)	(公表待ち→)		(1.78 倍 →)
0.84 倍	0.84 倍→	0.84 倍→	0.83 倍↓	0.83 倍→	0.92 倍

(総合戦略 P 84)

基本目標 I -3-(4)歴史とおもてなしに支えられた松戸文化が世界に発信される (松戸の都市ブランドの発信)

重要業績評価指標 (K P I) : 市内の施設や名所・イベントなどについて知っている市民の割合 (平均)

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未調査	42.5%	41.4% ↓	H27 年度比 10%増

基本目標 I -3-(5)気軽にスポーツを楽しむ文化がある (スポーツ文化の向上)

重要業績評価指標 (K P I) : スポーツを行っている市民の割合

平成 25 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
34.4%	37.5% ↑	34.7% ↓	48.0%

(総合戦略P85)

基本目標Ⅱ 高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり

⑦65歳における平均自立期間：男性17.83年、女性20.68年（平成26年度）

→男性18.24年、女性21.24年（平成31年度）

⑧生きがい感を持っている人の割合（70歳以上）：

84.3%（平成25年度）→86.0%（平成31年度）

⑨65～74歳就業率：30.1%（平成22年）→34.0%（平成31年）

数値目標⑦ 65歳における平均自立期間

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
男性 17.83年	17.53年 ↓	18.07年 ↑	(18.29→) 17.88年 ↓	18.17年 ↑	18.24年
女性 20.68年	20.01年 ↓	20.65年 ↑	(20.91→) 20.55年 ↓	20.89年 ↑	21.24年

数値目標⑧ 生きがい感を持っている人の割合（70歳以上）

平成25年度(基準値)	平成27年度	平成28年度(現状値)	平成31年度(目標値)
84.3%	81.1% ↓	76.1% ↓	86.0%

数値目標⑨ 65～74歳就業率

平成22年(基準値)	平成27年(現状値)	平成31年(目標値)
30.1%	32.6% ↑	34.0%

(総合戦略P85)

基本目標Ⅱ-1-(1)高齢になっても社会活動や仕事ができる（社会参加の促進と就労機会の確保）

重要業績評価指標（KPI）：シルバー人材センター登録者数

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
2,059人	2,083人 ↑	2,169人 ↑	2,151人 ↓	2,116人 ↓	3,000人

基本目標Ⅱ-1-(2)毎日の食事や運動を楽しみ、自分の健康状態に関心を持てる（健康増進事業）

重要業績評価指標（KPI）：がん検診受診率

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
21.9%	25.3% ↑	25.4% ↑	26.1% ↑	24.0% ↓	35.0%

(総合戦略 P 86)

基本目標 II -1-(3)年齢を重ねても移動がしやすい環境にある (高齢者にやさしいまちづくりの推進)

重要業績評価指標 (K P I) : コミュニティバス等の導入

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0	0 →	0 →	1 (実証運行) ↑	1 (実証運行) →	1 地区

基本目標 II -1-(4)年齢を重ねてもできるだけ自立した生活を送ることができる (介護予防の推進)

重要業績評価指標 (K P I) : 認知症サポーター数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
13,841 人	16,160 人 ↑	19,042 人 ↑	22,103 人 ↑	25,049 人 ↑	20,000 人

基本目標 II -2-(1)高度な医療を受けることができる医療機関が充実している (高度で良質な医療環境の充実)

重要業績評価指標 (K P I) : 市立病院の一般病床利用率

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
74.3%	75.8% ↑	75.4% ↓	76.5% ↑	84.2% ↑	90%

参考) H29.12.27 市立病院 → 市立総合医療センター

重要業績評価指標 (K P I) : 市立病院の紹介率

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
58.2%	56.5% ↓	65.2% ↑	64.8% ↓	64.7% ↓	60%

参考) H29.12.27 市立病院 → 市立総合医療センター

重要業績評価指標 (K P I) : 市立病院の逆紹介率

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
104.2%	101.8% ↓	108.5% ↑	104.5% ↓	103.1% ↓	100%

参考) H29.12.27 市立病院 → 市立総合医療センター

(総合戦略 P 87)

基本目標 II -2-(2)安心して介護を任せることができる施設や人材が充実している (介護保険サービスの充実)

重要業績評価指標 (K P I) : 介護人材育成事業参加者の介護職員初任者研修の修了率

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	93.8% ↑	78.5% ↓	100% ↑	100% →	90%

重要業績評価指標（KPI）：上記のうち、市内介護福祉施設や市内介護事業所に正規雇用された人数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	13 人 ↑	9 人 ↓ (累計 22 人)	5 人 ↓ (累計 27 人)	2 人 ↓ (累計 29 人)	40 人(累計)

重要業績評価指標（KPI）：正規雇用後の定着率

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	69% ↑	89% ↑	100% ↑	100% →	35%

(総合戦略 P 88)

基本目標 II-2-(3) 住み慣れた地域で自分らしい暮らしができる（地域包括ケアシステムの構築）

重要業績評価指標（KPI）：地域包括支援センターの数

平成 27 年度(基準値)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
11 か所	11 か所 →	15 か所 ↑	15 か所 →	15 か所

(総合戦略 P 89)

基本目標 II-2-(4) 多世代の家族や地域の支え合いにより地域に暮らす高齢者が見守られている

（高齢者の見守り体制の整備）

重要業績評価指標（KPI）：刑法犯認知件数（対 1 千人）

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
11.1	9.9 ↓	10.5 ↑	8.9 ↓	7.6 ↓	10.0

重要業績評価指標（KPI）：避難行動要支援者名簿整備数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
7 地区	10 地区 ↑	13 地区 ↑	13 地区 →	13 地区 →	13 地区

基本目標 II-2-(5) 年金や貯蓄が少なくなっても安心して生活することができる（安定した生活支援体制の確保）

重要業績評価指標（KPI）：金融機関等と連携したリバース・モーゲージ制度活用の研究

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	1 (実施)

(総合戦略P90)

基本目標Ⅲ まちが再生し、賑わいのあるまちづくり

⑩昼夜間人口比率： 81.6（平成22年）→82.3（平成31年）

⑪快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合：

35.7%（平成25年度）→48.0%（平成31年度）

⑫子育て世帯（三世帯同居含む）のうち、誘導居住面積水準以上の世帯割合

: 31.7%（平成25年）→37.0%（平成31年）

数値目標⑩ 昼夜間人口比率

平成22年(基準値)	平成27年(現状値)	平成31年(目標値)
81.6	82.0 ↑	82.3

数値目標⑪ 快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

平成25年度(基準値)	平成27年度	平成28年度(現状値)	平成31年度(目標値)
35.7%	41.0% ↑	38.6% ↓	48.0%

数値目標⑫ 子育て世帯（三世帯同居含む）のうち、誘導居住面積水準以上の世帯割合

平成25年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
31.7%	住宅土地統計調査の結果公表まち (次回調査は平成30年予定)	住宅土地統計調査の結果公表まち (次回調査は平成30年予定)	平成30年住宅土地統計調査の結果公表まち	38.6% ↑	37.0%

(総合戦略P90)

基本目標Ⅲ-1-(1)松戸駅周辺まちづくり基本構想が実現し、中心拠点が強化される（松戸駅周辺まちづくり基本構想の推進）

重要業績評価指標（KPI）：松戸駅の1日平均乗車客数

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
98,076人	100,079人 ↑	100,228人 ↑	100,831人 ↑	99,909人 ↓	現状維持

基本目標Ⅲ-1-(2)鉄道交差駅を中心に、まちに躍動感が感じられる（鉄道交差駅周辺の活性化）

重要業績評価指標（KPI）：鉄道交差駅の1日平均乗車客数合計

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
289,947人	296,357人 ↑	298,657人 ↑	301,608人 ↑	301,871人 ↑	現状維持

(総合戦略 P91)

基本目標Ⅲ-1-(3)ライフスタイルやライフステージにあった魅力的な住まいを見つけやすい(空き家対策と既存住宅ストックの活用)

重要業績評価指標(KPI): 空家率(住宅土地統計調査)

平成 25 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
11.6%	※次回調査は H30 年予定	※次回調査は H30 年予定	※次回調査は H30 年予定	12.6% ↑	10.0%

重要業績評価指標(KPI): 空家等対策に関する計画の策定

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0	0	1(策定) ↑	1(策定) →	1(策定) →	1(策定)

(総合戦略 P92)

基本目標Ⅲ-1-(4)新たな道路・街路が計画的に整備される(新たな道路・街路の整備)

重要業績評価指標(KPI): 渋滞箇所数

平成 24 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
24 箇所	24 箇所 →	24 箇所 →	24 箇所 →	24 箇所 →	23 箇所

基本目標Ⅲ-1-(5)どこに暮らしていても、まちまでの移動に困らない(バス交通網の整備)

重要業績評価指標(KPI): コミュニティバス等の導入(再掲)

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0	0 →	0 →	1(実証運行) ↑	1(実証運行) →	1 地区

基本目標Ⅲ-1-(6)公共施設が賑わっている(公共施設の再編整備)

重要業績評価指標(KPI): 公共施設再編整備基本計画の策定

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0	0 →	0 →	0 →	0 →	1(策定)

(総合戦略P93)

基本目標Ⅳ 経済が活性化し、安心して働けるようになるまちづくり

- ⑬新規求人倍率（松戸市内）： 0.73 倍（平成 24 年）→1.00 倍（平成 31 年）
- ⑭就業者数： 22 万 6 千人（平成 22 年）→25 万 8 千人（平成 31 年）
- ⑮商業の年間商品販売額： 7,667 億円（平成 19 年）→7,950 億円（平成 31 年）
- ⑯製造品出荷額： 3,272 億円（平成 25 年）→4,280 億円（平成 31 年）

数値目標⑬ 新規求人倍率（松戸市内）

平成 24 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
0.73 倍	1.10 倍 ↑	1.34 倍 ↑	1.51 倍 ↑	1.65 倍 ↑	1.00 倍

数値目標⑭ 就業者数

平成 22 年(基準値)	平成 27 年(現状値)	平成 31 年(目標値)
22 万 6 千人	22 万 3 千人 ↓	25 万 8 千人

数値目標⑮ 商業の年間商品販売額

平成 19 年(基準値)	平成(25→)26 年	平成 27 年(現状値)	平成 31 年(目標値)
7,667 億円	6,120 億円 ↓	7,404 億円 ↑	7,950 億円

数値目標⑯ 製造品出荷額

平成 25 年(基準値)	平成 26 年	平成 28 年	平成 29 年(現状値)	平成 31 年(目標値)
3,272 億円	3,344 億円 ↑	3,124 億円 ↓	3,046 億円 ↓	4,280 億円

(総合戦略P93)

基本目標Ⅳ-1-(1)都内などへの通勤が便利である（東京への通勤利便性の向上）

重要業績評価指標（KPI）： JR常磐線の混雑率

平成 25 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
167%	161% ↓	160% ↓	157% ↓	154% ↓	150%

重要業績評価指標（KPI）： 通勤時間帯（7：30～8：30）の上野東京ライン運行本数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
5 本	5 本 →	5 本 →	7 本 ↑	7 本 →	6 本

基本目標IV-1-(2)誰もが働くことに喜びを見出し、安定して就労できる（ソーシャルインクルージョンの理念を踏まえた若い世代や女性、障害者の就労機会の創出）

重要業績評価指標（KPI）：20代の完全失業率

平成22年(基準値)	平成27年(現状値)	平成31年(目標値)
8.3%	6.3% ↓	7.0%

重要業績評価指標（KPI）：女性の就業割合

平成25年度(基準値)	平成27年度	平成28年度(現状値)	平成31年度(目標値)
61.9%	64.4% ↑	69.4% ↑	65.0%

重要業績評価指標（KPI）：障害者法定雇用率を達成している企業の割合

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
34.3%	35.8% ↑	38.1% ↑	44.7% ↑	44.3% ↓	48.0%

（総合戦略P94）

基本目標IV-1-(3)女性も男性もワークライフバランスがとれた働き方ができる[経営者の理解]（ワークライフバランスの推進）

重要業績評価指標（KPI）：仕事と家庭生活両立のための配慮がある企業の割合

平成23年度(基準値)	平成27年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
42.3%	53.2% ↑	次回調査の結果待ち	60.0%

（総合戦略P95）

基本目標IV-1-(4)クリエイティブに「働く」ことができるスキルやマインドを身につけることができる（若い世代や女性の創業支援）

重要業績評価指標（KPI）：創業支援セミナーの参加者数 ※フューチャーセンター

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
未実施	125人 ↑	26人 ↓	16人 ↓	24人 ↑	30人

基本目標IV-1-(5)多世代の支え合いにより女性が活躍できる（多世代同居・近居の推進）

重要業績評価指標（KPI）：三世代同居・近居支援制度の創設

平成26年度(基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(現状値)	平成31年度(目標値)
0	0 →	1(創設) ↑	1(創設) →	1(創設) →	1(創設)

基本目標IV-2-(1)商品やサービスのブランド化やPRをサポートしてもらえる（企業の稼ぐ力の支援）

重要業績評価指標（KPI）：中小企業活性化支援補助（展示会等出展補助）件数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
9 件	8 件 ↓	16 件 ↑	24 件 ↑	21 件 ↓	10 件

重要業績評価指標（KPI）：中小企業振興資金利子補給金の件数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
580 件	899 件 ↑	1,009 件 ↑	1,056 件 ↑	1,092 件 ↑	1,500 件

重要業績評価指標（KPI）：特許相談の件数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
4 件	3 件 ↓	3 件 →	5 件 ↑	3 件 ↓	8 件

重要業績評価指標（KPI）：付加価値額（企業単位）

平成 24 年(基準値)	平成 27 年	平成 28 年(現状値)	平成 28 年(目標値)
(355,050→)355,796 百万円	公表まち	(公表まち→)366,260 百万円 ↑	370,298 百万円

（総合戦略 P 96）

基本目標IV-2-(2)起業や経営について相談やサポートしてもらえる（起業や経営についての相談やサポート体制の充実）

重要業績評価指標（KPI）：中小企業経営相談の件数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
131 件	205 件 ↑	267 件 ↑	281 件 ↑	262 件 ↓	137 件

基本目標IV-2-(3)商店街に魅力的な商店が集まっている（商店街の活性化支援）

重要業績評価指標（KPI）：まちの賑わいや買い物の便の満足度

平成 25 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
26.2%	31.1% ↑	28.0% ↓	48.0%

（総合戦略 P 97）

基本目標IV-2-(4)企業が松戸に立地するメリットがある（企業誘致の推進）

重要業績評価指標（KPI）：事業所数

平成 24 年(基準値)	平成 26 年	平成 28 年(現状値)	平成 31 年度(目標値)
13,098 事業所	13,594 事業所 ↑	12,698 事業所 ↓	現状維持

基本目標Ⅳ-2-(5)クリエイターやアーティストが活躍できる（クリエイターやアーティストへの就労支援）

重要業績評価指標（KPI）：協議会加盟事業者数及び就業者数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未実施	9 事業者 ↑	19 事業者 ↑	34 事業者 ↑	36 事業者 ↑	100 事業者
	100 人 ↑	146 人 ↑	159 人 ↑	165 人 ↑	500 人

重要業績評価指標（KPI）：コンテンツ産業の市内での粗利益

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未調査	(指標算出の対比基準)	対 27 年度比	対 27 年度比	対 27 年度比	対 27 年度比
	3,109,100,000 円	109.8%増 ↑	(318.2%→) 318.1%増 ↑	324.7% 増 ↑	10.8% 増

重要業績評価指標（KPI）：コンテンツに係る創作等に取り組む市民の数

平成 26 年度(基準値)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(現状値)	平成 31 年度(目標値)
未調査	(指標算出の対比基準)	対 27 年度比	対 27 年度比	対 27 年度比	対 27 年度比
	構成比 4.8%	(6.4%→) 5.8% 減 ↓	(35.4%→) 34.8% 減 ↓	33.2% 減 ↑	21.6% 増